

「感染拡大警戒警報」に応じて、天理大学の一斉休校やクラブ全面停止を含む対策の発表について天理市長メッセージ（4月17日）

本日（4月17日）、奈良県では90名の新規感染発表がありました。重症と中等症の方がそれぞれ3名増加し、重症化対応病床の占有率が60%に上昇しました。入院・入所準備中も44増の355名となっています。感染発表の中で本市在住者は12名で、学生4名が含まれています。心からお祈り申し上げ、ご快復をお祈り申し上げます。

今夜、天理大学より「4月11日までに陽性が判明したものは全て回復」との発表に加え、4月12日以降17日までに新たに10名の陽性者が確認されている旨の発表がありました。大学によれば、昨日奈良県から発表があった合計62名（すべて退院済み）とは、経路が別の、全く異なる感染によるものとの由です。

市では、天理大学での集団感染だけでなく、市内全世代で感染が広がっている状況に対して危機感をもって受けとめ、天理市「感染拡大警戒警報」を発出しました（4月19日～5月9日）。

<https://www.city.tenri.nara.jp/daiji/8392.html>

同警報では、天理大学に「抜本的な感染対策の見直しを強く要望」しています。本日（4月17日）、私（並河）より永尾天理大学学長に直接申し入れを行いました。天理大学側は今回の要望も踏まえ真摯にご対応を頂き、大学独自の判断として、今夜直ちに、一斉休校や、公式戦の辞退も含めたクラブ活動の全面停止を含めて、非常に強い対策が発表されました。

<https://www.tenri-u.ac.jp/topics/q3tncs00001ztc56.html>

大切な学業、学生のみなさんがこれまで仲間と一所懸命取り組まれてきたクラブ活動を停止することは、大学にとって非常に苦しい重い決断と存じます。そこを今は、学生及び市民の命と健康を守ることを最優先に、市の要望内容を上回る方針を示されたことに対して、深く敬意と感謝を申し上げます。

市も、「感染拡大警戒警報」に基づき、感染拡大の防止に全力を尽くして参ります。市民の皆さまにおかれましても、ぜひ警報本文をご一読いただき、「普段同居しない人と」「マスクを外した状態で」「対面しない」ことの徹底をはじめ、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

（追記）天理大学のクラスター発生に関する報道について

昨日付市長メッセージの中で、「3月から4月上旬にかけて、県内大学の5つのクラブで合計62名の集団感染があった旨改めて発表」「既に全員が治癒」「市内在住者については、これまでの市長メッセージで全て記載済み」「この集団感染は一旦終息」と記載しました。

他方で、「天理大学で62名の大クラスター発生」という報道が多くありましたので、不安や不信感もお持ちになった市民も少なくないと存じますが、あたかも今62名のクラスターが発生したかのような表現で報じられたことは、遺憾です。

保健医療当局からは「調査中」のままにされてきた案件です。クラスターの認定は、全員が退院する時期になるまでなされず、天理大学側としても苦慮されていたと推察します。また、5つの集団感染の間に、相互の関係は確認されておらず、一つのクラスターのような表現は正確とは言えません。

ただし、上記のとおり、全く異なる経路で、新たな感染も10名確認されており（62名とは無関係）、本市としても「感染拡大警戒警報」を発令し、天理大学に対策の抜本的見直しの申し入れを行いました。

【4月17日付感染発表（全員調査中）】

80代男性、60代女性介護従事者、20代男性会社員、20代男性学生2名、20代女性会社員2名、20代女性学生、10代女性学生、10代男性介護従事者、10歳未満男児

令和3年4月17日
天理市長 並河健